

科目名		解剖学 1							年度	2025
英語科目名		Anatomy 1							学期	前期
学科・学年		鍼灸科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		宇南山 伸	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】										
臨床活動を行ううえで必要な知識である、人体の構造について学びます。										
【科目の概要】										
人体の正常な構造を理解する。 人体を「構造」という視点で細部を俯瞰すると、部分一つ一つに存在するべき合理的な理由が存在する。細部までよく観察し理解すること、人体全体をよりよく理解するための礎を作る。										
【到達目標】										
鍼灸の学習を進めるうえで必要な解剖学的知識を習得する。医療の基礎となる用語を理解し身につけることが必要となる。そのうえで人体の各部の構造的特徴を学び人体に対する理解を深める。人体の外見から推測できる構造から始まり、体内臓器の理解へと進み、体の内外の構造を立体的に把握し体全体の深い理解につなげる。										
【授業の注意点】										
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標A	骨全般に関して説明 ができる	骨全般に関して深く 理解している	骨全般に関して理解 している	骨全般に関しておお むね理解している	骨全般に関して理解 している部分もある					
到達目標B	骨それぞれの形状と 位置に関して説明で きる	骨それぞれの形状と 位置に関して深く理 解している	骨それぞれの形状と 位置に関して理解し ている	骨の大部分に関して 形状と位置を理解し ている	骨の一部に関して形 状と位置を記憶して いる					
到達目標C	骨の部分形状とその 役割に関して説明で きる	骨の部分形状とその 役割に関して深く理 解している	骨の部分形状とその 役割に関して理解し ている	骨の大部分に関して 形状とその役割を理 解している	骨の一部に関して形 状とその役割を記憶 している					
到達目標D	骨格筋の形状と位置 に関して説明できる	骨格筋の形状と位置 に関して深く理解し ている	骨格筋の形状と位置 に関して理解してい る	大部分の骨格筋の形 状と位置に関して理 解している	一部の骨格筋の形状 と位置に関して記憶 している					
到達目標E	骨格筋の作用に関し て説明できる	骨格筋の作用に関し て深く理解している	骨格筋の作用に関し て理解している	大部分の骨格筋の作 用に関して説明でき る	一部の骨格筋の作用 に関して記憶してい る					
【教科書】										
東洋療法学校協会編解剖学医歯薬出版										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
期末試験および授業中に復習のための小テストを実施する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

